

令和５年度事業報告書
令和５年４月１日から令和６年３月３１日まで

公益財団法人滑川市農業公社

１．農地の利用調整及び農作業受委託の推進に関する事業（公益目的事業）

農地利用総合支援事業

農地の利用調整については、農地利用集積円滑化団体として、また農地中間管理事業業務の受託先として、高齢や健康状況等により耕作ができない農地の所有者からの相談を受け、地域農業の担い手である認定農業者や農業生産法人等（以下、「認定農業者等」という。）に農地を貸付けることで、認定農業者等の農業経営の規模拡大と生産性の向上を図り、農用地の利用の効率化及び高度化を推進し併せて耕作放棄地の発生を抑えることにより、国土の保全と農地の利活用の推進に努めました。

また、認定農業者等の安定的な経営基盤の強化を図るなどのため、利用権設定された農地の貸借契約の終期・更新の通知及び更新手続きを行いました。

農作業の受委託については、農業経営における過剰投資の防止と農業機械の有効利用を図るため、農業機械を所有しない小規模な農家から農作業の依頼を受け、認定農業者等にその農作業を委託する農作業の受委託調整を行いました。

（１）利用権設定実績

（単位：件、ha）

利用権設定(新規・更新・変更)			
借 入		貸 付	
件数	面 積	件数	面 積
3 1 7	1 8 6	9 1	1 8 6

※滑川市農業公社の賃貸借料金精算実績（公社の保有量）（単位：件、ha）

公社の保有量			
借 入		貸 付	
件数	面積	件数	面積
3 5 6	2 3 1	4 6	2 3 1

（２）利用権設定農地の終期・更新通知実績

（単位：件、ha）

農地所有者		耕作者	
件数	面積	件数	面積
2 9 3	1 7 5	5 1	1 7 5

(3) 農作業受委託事業実績

(単位：件、ha)

耕起作業		田植作業		収穫作業		乾燥調製作業	
件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
0	0	0	0	1	0.2	1	0.2

2. 担い手の育成及び農業者の資質の向上に関する事業（公益目的事業）

担い手育成及び農業者等研修支援事業

公益社団法人富山県農林水産公社や富山農林振興センター等の関係機関と連携を図りながら、ホームページや農業公社だより等を通して就農に関する各種情報を提供するとともに、新規就農希望者や農家の後継者にとらわれず、地域農業の後継者の確保に資するよう、生産組織の担い手を対象に、栽培管理や農業機械の安全操作等に関する通信教育を行うとともに、就農等に係る情報の提供を行いました。

一方、長期的な観点から、市内の児童・生徒が小さい頃から農業体験学習等を行うことにより、食に関わる人々の活動と地元食材に対する知識を広め、一人でも多くの若者の就農が実現するよう、農業に対する理解と関心の醸成を図る学習について支援を行いました。

また、農業者等の研修事業として、野菜づくりや地産地消を一層推進するため、滑川市等との共催により「野菜づくり講習会」を開催しました。

(1) 通信教育の実施（受講者 4 人）

- ・生産組織の後継者に、通信教育を 4 回実施

(2) 農業体験学習等への支援（早月中学校、東加積小学校）

- ・秋冬野菜づくりの体験を行い、学校給食に大根・キャベツ等を 2.6 トン提供

(3) 農業公社だよりの発行（年 1 回、※新規就農支援情報の提供等を含む）

(4) 野菜づくり講習会の開催

- ・令和 6 年 2 月 7 日

場所：滑川市役所東別館 3 階大会議室

講師：富山農林振興センター担い手支援課 目黒修平 氏

3. 都市と農村の交流の活性化に関する事業（公益目的事業）

都市農村交流活性化支援事業

消費者に、市内の農業や農村文化等の体験や見聞する機会を提供し、農産物の生産状況を直接見聞してもらいながら、市内の農業と農産物等をPRするとともに、市内の農業生産者と市内外の消費者との交流を促進し、市内農業と農産物の生産状況等について知識や理解を深めてもらうための事業を実施しました。

農業体験として「なめりかわキラリ農業ひかる塾」を開催し、消費者に農作業や農村文化等の体験及び見聞する機会を提供するとともに、地場産野菜の利用に対する市民の関心を高めるため、その中で学校給食用の野菜づくりに取り組みました。

また、体験農園として「ふれあい野菜耕房」を開設し、消費者に野菜づくり用の農園を貸出し、定期的に専門農家の指導を受けながら定植から収穫までの野菜づくりを行うことにより、農業の楽しさや知識を深めてもらうための機会を提供しました。

（1）なめりかわキラリ農業ひかる塾の開催

①Aコース（実施回数：2回、参加者：延べ24人）

- ・秋冬野菜の定植、枝豆の収穫体験
- ・秋冬野菜の収穫体験、ガーデニング体験

②Bコース（実施回数：2回、参加者：延べ38人）

- ・米粉を使った料理づくりと地産地消の料理づくり体験
- ・手づくり味噌とリンゴジャムづくり体験

（2）ふれあい野菜耕房（体験農園）の開設（利用者35名、利用区画数37区画）

①栽培管理講習会の開催

- ・令和5年5月17日

講師：ひかる市の皆さん 10名

②農園だよりの発行（6回）

4. 地域特産品の開発及び流通に関する事業（公益目的事業）

地域特産品開発流通支援事業（公1事業）

関係機関と連携を図りながら、自然豊かな大地において栽培履歴管理された安心・安全な滑川産コシヒカリを始め、里芋・りんご等の農産物や、りんごジャム・かずみの健康茶・味噌等の加工品情報を、「なめりかわ味覚だより」に掲載し、ホームページ・パンフレット・各種イベント等を通して、広く市内外の消費者に紹介しながら、公社が窓口となって商品の注文を受付け、産地直送品として申込者に送付しました。

また、滑川市の「ふるさと納税」への対応商品として、「さといも」・「りんごジュ

ース」・「コシヒカリと深層水のセット」の取り扱いを行いました。

(1) 市内特産品のPR及び販売活動の実施

①なめりかわ味覚だよりの販売

取扱件数 462件

※主な注文品：コシヒカリ190件、里芋95件、りんごジュース82件 等

②精米（コシヒカリ）の販売

取扱量 コシヒカリ 2,015kg

(2) 各種イベント等への参加

東京滑川会及び関西滑川会の総会においてPR

5. 農業情報の集発信に関する事業（公益目的事業）

農業情報集発信支援事業

滑川市農業技術者協議会及びアルプス営農対策委員会の会員として、生産性と農家所得の向上を図るため、水稻・大豆・大麦等の栽培管理方法等の農業技術に関する情報を掲載した営農情報等を定期的に生産農家に配布しました。

また、産地と消費者との繋がりを深めるため、ホームページや農業公社だより等を通して、当市の農業情報や公社が取り組んでいる各種事業の情報、特産品の紹介並びに都市と農村の交流活動等を市内外に発信しました。

(1) 営農情報の発行（7回）

(2) ホームページによる農業公社事業等の発信（年間）

6. 元気とふれあいの学校給食づくり事業（公益目的事業）

市内で生産された、安心・安全で、美味しい取れたて野菜を中心とする地場産農産物を、積極的に学校給食の食材としての活用を推進するため、アルプス農業協同組合・富山農林振興センター・滑川市等の関係機関と連携を図りながら、野菜を栽培されている生産農家を対象に、潜在的に余剰な野菜の出荷を呼び掛けるとともに、新規に野菜を栽培する生産者・生産者団体を確保し、その中から少しでも多くの地場産野菜等が学校給食用の出荷に結び付くよう働きかけました。

また、児童・生徒に対して食に関わる人々の活動と地元食材に対する知識と理解を深めるため、市内の小中学生が直売店や野菜栽培圃場を訪れ、生産者との交流を行な

いました。

(1) 学校給食への地場産食材の活用実績

①滑川産野菜等の使用品目

大根、たまねぎ、ジャガイモ、キャベツ、白ねぎ、さといも、深層水トマト、
冬瓜、白菜、にんじん、さつまいも、りんご、みかん、など 計55品目

②滑川産野菜等の使用量

総重量 43.4トン

7. 農産品販売促進事業（公益目的事業）

地産地消の推進及び農産品の生産販売促進に係る活動等を行いました。特に、地域特産品開発流通支援事業における特産品のPR及び販売と、学校給食共同調理場及び生産者や生産者団体等と連携を密にしながら、元気とふれあいの学校給食づくり事業における地場産農産物の活用を促進するための活動を重点的に行いました。

(1) 市内特産品のPR及び販売促進活動の実施

(2) 学校給食における地場産野菜等の活用促進活動の実施

8. 農業研修施設等の管理運営等に関する事業（その他事業）

指定管理者事業

「滑川市公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例」の規定に基づき、次の施設の指定管理業務を受託しました。

(1) 滑川市農村環境改善センター

(2) 滑川市農村研修センター